

GPS コンパス JLR-20/JLR-30 GPS COMPASS JLR-20/JLR-30

1. 概要

GPSコンパスJLR-20/JLR-30は、GPS衛星からの電波を利用して高精度に船首方位を計測する新しいタイプの真方位計測装置です。センサー部（アンテナ）と表示器の2ユニットより構成されます。

センサー部は、新たに開発した位相差計測アルゴリズムにより、方位計測時間（静定時間）を短縮するとともに、急激な操船にも確実に反応する高速追従性と船体動揺が激しい悪天候下でも計測が途切れない高い安定性を実現しています。表示器は、大型の5.7型ハイコントラストモノクロ液晶を採用し、コンパス画面など実用性に優れた表示モードを多数搭載しています。

今回、市場ニーズに応えるため、汎用型のJLR-20と高精度型のJLR-30の2モデルを同時開発しました。

2. 特長

- (1) 高精度かつ高い安定性
- (2) 短い静定時間
- (3) 急激な旋回にも対応可能な高速追従性
- (4) 5.7インチ大型液晶ディスプレイによる優れた視認性
- (5) アナログコンパス、ROTなど実用性に優れた表示モードを多数搭載
- (6) センサーと表示器の2ユニット構成による優れた装備性
- (7) JRC製レーダーの性能をフルに発揮
- (8) ジャイロでは必要な定期保守が不要
- (9) ビーコン受信機接続により気象情報表示可能
- (10) GPS電波中断時も内蔵の補助センサーでバックアップ

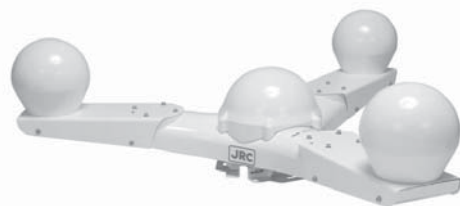
3. 仕様

- | | |
|-------------|---|
| (1) 受信形式 | マルチチャンネル12ch |
| (2) 方位精度 | |
| JLR-20 | 0.5度rms |
| JLR-30 | 0.3度rms |
| (3) 追従回頭角速度 | 45度/秒 |
| (4) 方位分解能 | |
| 表示 | 0.1度 |
| 外部出力 | 0.1度/0.01度（任意選択可能） |
| (5) 静定時間 | 約2分（実力：30秒程度） |
| (6) SBAS | 内蔵 |
| (7) RAIM | 内蔵 |
| (8) 表示モード | アナログコンパス / ROT / NAV / GPS受信状態など |
| (9) データ出力 | NMEA0183 ver.1.5 / 2.1 / 2.3 / NSK共用×5ポート |



センサー部 NNN-20
SENSOR UNIT NNN-20

表示器 NWZ-4700
DISPLAY UNIT NWZ-4700



センサー部 NNN-30
SENSOR UNIT NNN-30

GPSコンパス JLR-20/JLR-30
GPS COMPASS JLR-20/JLR-30

※NWZ-4700に、NNN-20を使用した場合がJLR-20。
NNN-30を使用した場合がJLR-30となります。

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| (10) 接点信号 | 出力×2ポート
入力×1ポート |
| (11) ログパルス | 1ポート（200 / 400 p/nm
任意選択可能） |
| (12) 動作温度範囲 | センサー部：-25℃～+55℃
表示器：-15℃～+55℃ |
| (13) 耐振動性能 | IEC60945（ed.4）準拠 |
| (14) 防水性能 | IEC60945（ed.4）準拠 |
| (15) 電源電圧 | 12/24VDC |
| (16) 消費電力 | 最大12W（センサー部：5.5W
表示器：6W） |

お問合せ先	海上機器営業部 電話 03-3348-4096
-------	----------------------------